インターネットモニターアンケート実施結果

資料2

アンケートの概要

調査期間　平成26年9月1日午前9時～7日午後4時
調査対象モニター数　4,024 人
調査回答モニター数　1,390 人　（回答率　34.5%）

※複数回答できる設問については、比率の合計が１００%を超えることがあります。
　小数点第２位を四捨五入しているため、単一回答の設問でも比率の合計が１００%にならないことがあります。

問１　生涯学習についてお聞きします。
次の選択肢は生涯学習活動※といえるものです。この1年間で、どのような生涯学習活動を行いましたか。
（いくつでも）

※生涯学習活動 ＝ 人が生涯にわたり学び・学習の活動を続けていくこと

この問いの回答者数		1,052人		1,379人	
選択肢	項目	２１年度		２６年度	
		回答数	回答数の回答者に対する比率	回答数	回答数の回答者に対する比率
a	趣味・けいこ事（音楽、美術、華道、ダンス、園芸、伝統芸能など）	275	26.1%	367	26.6%
b	学術・教養（文学、歴史、経済、語学など）	110	10.5%	270	19.6%
c	社会問題（社会・時事問題、国際問題、環境問題など）	44	4.2%	136	9.9%
d	健康づくり・スポーツ（ウォーキング、レクリエーション、水泳、武道など）	342	32.5%	448	32.5%
e	健康に関すること（医学、栄養学など）	66	6.3%	142	10.3%
f	家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）	88	8.4%	141	10.2%
g	育児・教育（幼児教育、教育活動など）	56	5.3%	152	11.0%
h	職業上必要な知識・技能・資格取得	93	8.8%	151	11.0%
i	パソコン・インターネットに関すること	110	10.5%	259	18.8%
j	ボランティア活動・地域活動（子ども会、青少年団体、女性団体、PTA、美化活動など）	118	11.2%	226	16.4%
k	科学に関すること（実験、観察など）	7	0.7%	65	4.7%
l	その他の生涯学習活動	9	0.9%	36	2.6%
m	生涯学習活動は行っていない　→　問４へ	397	37.7%	496	36.0%

ア (ア)市民のボランティア活動・地域活動の参加状況

分析
・市民のボランティア参加状況は着実に進展している。今後もより多くの市民のボランティア参加を推進するよう、環境を整備していく。
・「m 生涯学習活動は行っていない」と回答した市民の比率がそれほど減少していない。今後、生涯学習の推進には、この層の参加を促すことが必要である。

問２　この1年間で、どのような方法・機会を利用して生涯学習活動を行いましたか。
（いくつでも）

この問いの回答者数		622人		904人	
選択肢	項目	２１年度		２６年度	
		回答数	回答数の回答者に対する比率	回答数	回答数の回答者に対する比率
a	生涯学習センター、公民館、図書館など行政機関や公共施設の講座・教室	199	32.0%	349	38.6%
b	カルチャーセンターなど民間の講座・スポーツ教室	158	25.4%	166	18.4%
c	大学・短大・高校の公開講座・教室	34	5.5%	70	7.7%
d	個人講師によるけいこ事	90	14.5%	104	11.5%
e	友人・知人のグループや同好会	198	31.8%	213	23.6%
f	町内会など地域のグループ	105	16.9%	129	14.3%
g	職場のサークル	32	5.1%	31	3.4%
h	テレビ、ラジオ、通信教育などを利用した個人学習	63	10.1%	148	16.4%
i	パソコン、インターネットなどを利用した個人学習	101	16.2%	308	34.1%
j	その他の方法・機会	57	9.2%	196	21.7%

イ(ア)公民館や生涯学習センターなど行政機関や公共施設で学ぶ市民の割合

分析
・以前の調査と比較すると、IT化の進展に伴い、「ｉ パソコン、インターネットなどを利用した個人学習」が大幅に伸びている。また、「ｊ その他の方法・機会」の比率も伸びており、学習方法の多様化がうかがえる。
・そのような中でも「a 生涯学習センター、公民館、図書館など行政機関や公共施設の講座・教室 」は目標数値を達成しており、市民の学習ニーズに適合した学習機会を提供できていると思われる。

問３　生涯学習活動を通じて身に着けた知識・技能経験をどのような形で生かしたいと思いますか。
（いくつでも）

この問いの回答者数		1,052人		910人	
選択肢	項目	２１年度		２６年度	
		回答数	回答数の回答者に対する比率	回答数	回答数の回答者に対する比率
a	仕事や就職	206	19.6%	252	27.7%
b	資格の取得	123	11.7%	148	16.3%
c	日常生活	378	35.9%	467	51.3%
d	ボランティアなど地域活動	174	16.5%	256	28.1%
e	さらに深い知識や技術を身につけたい	229	21.8%	272	29.9%
f	学習、スポーツなどの指導	53	5.0%	91	10.0%
g	人生をより豊かにしたい	645	61.3%	595	65.4%
h	特にない	93	8.8%	39	4.3%

ア(イ)市民のボランティア活動・地域活動の将来の参加意向

分析
・以前の調査と比較して、回答者1人当たりの回答項目数が多くなっており、ほぼすべての項目について回答率が高くなっている。複数の生涯学習活動を行っている市民や、さまざまな目的を持って生涯学習活動を行っている市民が増加しているのではないかと考えられる。

問４　問１でm「生涯学習活動は行っていない」と答えた方にお聞きします。生涯学習活動を行っていない理由は何ですか。（３つまで）

この問いの回答者数		397人		520人	
選択肢	項目	２１年度		２６年度	
		回答数	回答数の回答者に対する比率	回答数	回答数の回答者に対する比率
a	仕事で時間が取れない	186	46.9%	225	43.3%
b	家事・育児・介護などで時間が取れない	69	17.4%	156	30.0%
c	一緒に活動する仲間がいない	33	8.3%	47	9.0%
d	費用がかかる	57	14.4%	122	23.5%
e	どんな生涯学習活動があるのかわからない	151	38.0%	136	26.2%
f	適切な講師や指導者がいない	4	1.0%	20	3.8%
g	身近に利用できる施設が少ない	66	16.6%	88	16.9%
h	希望する内容の学習や活動機会が少ない	59	14.9%	108	20.8%
i	特に必要と感じない	74	18.6%	120	23.1%

ウ(イ)どのような学習活動があるのかわからないと感じる市民の割合

イ(イ)学習活動は特に必要ないと感じる市民の割合

分析
・以前の調査と比較して「ｉ 特に必要と感じない」が増加している一方、「e どんな学習活動があるのかわからない」は減少している。生涯学習に関する情報不足感は解消されているが、生涯学習の意義の周知に今後も努める必要がある。

問５　いろいろな生涯学習活動（問１参照）を行うにあたり、市の施設や環境は以前と比べてどのように変化していると思いますか。
（１つだけ）（入力必須）

この問いの回答者数				1,390人	
選択肢	項目	２１年度		２６年度	
		回答数	回答数の回答者に対する比率	回答数	回答数の回答者に対する比率
a	かなり充実した	実施せず		79	5.7%
b	やや充実した			331	23.8%
c	変わらない			333	24.0%
d	やや悪くなった			37	2.7%
e	かなり悪くなった			23	1.7%
f	わからない			587	42.2%

分析
・「ｆ わからない」が大多数だが、「ｄ やや悪くなった」「ｅ かなり悪くなった」はごく少数であり、市の提供する生涯学習施設及び環境は、概ね良好な評価がされている。

問６　生涯学習関連施設について、市はどのような点に力を入れるとよいと思いますか。
（３つまで）

この問いの回答者数		1,052人		1,376人	
選択肢	項目	２１年度		２６年度	
		回答数	回答数の回答者に対する比率	回答数	回答数の回答者に対する比率
a	既存の施設・設備の充実	353	33.6%	559	40.6%
b	夜間や休日でも利用できるようにする	395	37.5%	554	40.3%
c	誰でも気軽に参加できる行事やイベントの充実	430	40.9%	615	44.7%
d	子どもの一時預かりの充実	120	11.4%	252	18.3%
e	生涯学習について相談できる専門的な職員の配置	90	8.6%	141	10.2%
f	生涯学習に関する情報提供の充実	439	41.7%	600	43.6%
g	学校の施設を開放する	125	11.9%	369	26.8%
h	特にない	45	4.3%	110	8.0%

ウ(ア)学習活動に関する情報が不足していると感じる市民の割合

分析
・以前の調査と比較して、回答者1人当たりの回答項目数が多くなっており、生涯学習関連施設に対する要望は大きくなっている。引き続き、施設の利便性向上と情報発信に努める必要がある。

問７　生涯学習事業について、市はどのような点に力を入れるとよいと思いますか。
（３つまで）

この問いの回答者数		1,052人		1,376人	
選択肢	項目	２１年度		２６年度	
		回答数	回答数の回答者に対する比率	回答数	回答数の回答者に対する比率
a	大学などとの連携による高度で専門的な学習機会の提供	226	21.5%	519	37.7%
b	文化・芸能を鑑賞できる事業の充実	404	38.4%	544	39.5%
c	市民が参加できる研究会、討論会形式の事業の充実	95	9.0%	221	16.1%
d	市民が企画から参加する市の講座の充実	168	16.0%	272	19.8%
e	団体やサークルなどの自主的な活動を支援	277	26.3%	359	26.1%
f	出張講座などを受講できる機会の充実	82	7.8%	369	26.8%
g	地域の活動に生かせる講座の充実	274	26.0%	441	32.0%
h	特にない	116	11.0%	164	11.9%

分析
・以前の調査と比較して、回答者1人当たりの回答項目数が多くなっている。回答率３０％を超える事業が３件あるなど、市民の学習ニーズは一本に絞ることは難しい状況にある。今後も、個人・団体・企業などさまざまな主体と連携・協働して幅広い学習機会の提供に努める。